

とお こや やま しんじん お きふ ぎようせつ しやくやく
 藐き姑射の山に神人ありて居る、肌膚は冰雪のごとく、淖約たる
 こと処子の若し。五穀を食わず、風を吸い露を飲み、雲氣に乗じ
 ひりゆう ぎよ しかい ほか あそ そ しんこ もの そこな
 飛龍に御して、四海の外に遊ぶ。其の神凝れば、物をして疵癘わぎ
 らしめ、年穀をして熟せしむ。堯は天下の民を治め、海内の政
 おさ おき ゆ しし とお こや やま み ふんすい きた よう
 を平めてより、往きて四子を藐き姑射の山に見、汾水の陽にて、窅
 ぜん そ てんか わす
 然として其の天下を喪れたり。

【大体の意味内容】

はる かなた こや やま しんじん す はた ひようせつ しろ すがた うつく おとめ
 遙か彼方の姑射の山には神人が住んでいる。肌は氷雪のように白く、姿の美しさは乙女
 のよう ことめ こくもつ た かぜ す の わ お うんき の
 の様ですらある。米などの穀物は食わず、風を吸っては露を飲む。沸き起る雲氣に乗り、
 あまが りゆう あやつ よ そと せかい ゆうどう うんかい ひろ かけ せいしん
 天翔ける龍を操り、この世の外の世界を遊動している。雲海のように広やかな彼の精神
 しゆうちゆうぎようしゆうく せいせい はずてん としたま
 が集中凝縮すると、すべてのものが生成発展するエネルギーとなる。また稔魂となつ
 しゆびよう やど とし さくもつ ほうじよう みの ちゆうくくしじようさいこう めいくん うた ぎよう
 て種苗に宿り、その年の作物まで豊穰に実るといふ。中国史上最高の名君と謳われた堯
 は、天下万民を治め、国内の政治を平安にした。偉業を成して後、遙か彼方の姑射の山に
 す ぶんしんじん した もと い かけ ねが かな ぶんすい きた
 住むという四神人を慕い覓めて行つた。そうして彼らにまみえる願いが叶うと、汾水の北
 みやこ かい すで ぎよう たましい ゆうきゆう せかい あそ きようち いた じぶん おさき ぞくかい
 の都に帰ってきた。が、既に堯の魂は悠久の世界に遊ぶ境地に至り、自分が治める俗界
 わす
 を忘れてしまっていた。

大学生の時に、雲海を見たくて登山をするようになりました。遠くの山や富士山などが、雲で
 できた大海原に点々と浮かぶ島のように見える光景、もうすぐ宇宙が見えてきそうな真つ青な天
 蓋は怖くはないです。

沸き起こってくる雲がスクリーンとなって、虹の円が映り、その真ん中に自分の影が見えるという「フロッケン現象」も何度か見ることができました。

そのような高山は、動植物たちにとっては生存が困難な過酷な環境でもあるのですが、そうした中でも小さく可憐に咲く花は様々にあって、カメラの接写機能を使って拡大撮影してみると、その美しさには息を呑みます。

「じつじつだまだまこんなどころまで登ってくる人がいなければ存在すら知られない者たちが、生きつらい環境の中で精いっぱい命を輝かせていることにも感動します。」

「何か偉大なもの」は、サムシング・グレートじつじつじつじつで気付かせてもらえるのだなと感じました。

